

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-51C	24-083	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
The protective effect of dietary folate intake on gastric cancer is modified by alcohol consumption: A pooled analysis of the StoP Consortium 飲酒により影響を受ける食事性葉酸摂取の胃癌に対する保護効果：StoP コンソーシアム統合解析		
執筆者		
Gonzalez-Palacios S, Compañ-Gabucio LM, Torres-Collado L, Oncina-Canovas A, García-de-la-Hera M, Collatuzzo G et al.		
掲載誌		
Int J Cancer. 2024 Oct 15;155(8):1367-1375. doi: 10.1002/ijc.35004.		
キーワード	PMID	
飲酒;食事性葉酸;胃癌;相互作用	38757245	
要旨		
<p>背景：近年、食事からの葉酸摂取が胃癌（GC）リスクを低減させる可能性が示唆されているが、これまでの疫学研究の結果には一貫性がない。そこで本研究では、食事性葉酸摂取量と GC リスクとの関連を評価するとともに、アルコール摂取による修飾効果を検討した。</p> <p>方法：本研究は、国際的な胃癌疫学研究ネットワークである Stomach Cancer Pooling (StoP) コンソーシアムに参加した 11 の症例対照研究から、組織学的診断に基づく胃癌症例 2,829 例および対照者 8,141 例のデータを統合し解析した。食事性葉酸摂取量の推定には、食物摂取頻度調査票の回答により各研究から得られた 1 日あたりの葉酸摂取量を統合し、残差法を用いてエネルギー調整を行い算出した。調整オッズ比 (OR) および 95%信頼区間 (CI) の算出には、各研究の違いをランダム切片として考慮した線形混合効果モデルを使用した。</p> <p>結果：葉酸摂取量の多さは、GC リスクの低さと関連していた(第 4 四分位群、対第 1 四分位群 OR_{Q4 vs Q1}:0.78、CI:0.67-0.90、1 分位増加毎の OR:0.92、CI:0.87-0.96、葉酸摂取量 100μg/日あたりの OR_{100μg/日}:0.89、CI:0.84-0.95)。また、葉酸摂取量とアルコール摂取量の間有意な交互作用がみられた。しかしながら 1 日あたり 2 杯(1 杯:アルコール 12g) 以上のアルコールを摂取した参加者では葉酸摂取量と関連した GC リスク低下は観察されなかった(OR_{Q4 vs Q1} : 1.15、95%CI:0.85-1.56、OR_{100μg/日}:1.02、95%CI、0.92-1.15)。</p> <p>結論：本研究結果は、葉酸摂取による GC リスク低下の効果を支持する一方で、1 日あたり 2 杯を超えるアルコール摂取によりこの効果を打ち消す可能性があることが示唆された。</p>		